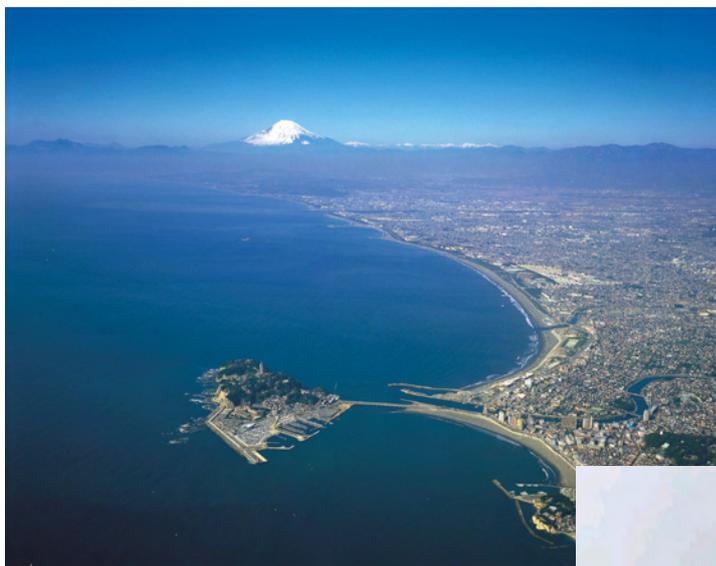


ふじさわ未来課題

61 観光により地域が元気になること

～まちづくり情報～

- ① 藤沢市への観光客数は、年間約 1,340 万人におよびます。
- ② 藤沢には江の島や湘南海岸のほかにも、歴史ある史跡が多くあり、地域の大切な資産となっています。
- ③ 近年、市内北部でも、お祭りやイベントを核にした誘客が進みつつあり、多くの観光客による賑わいをみせています。例えば、不法投棄などで汚染の進む小出川を彼岸花の植栽を通じてきれいにしようという活動の中で進められてきた「小出川彼岸花まつり」は、茅ヶ崎市の住民とも連携して開催されています。



【戦略目標】

19 多様な地域資源を活かした観光立市のまち

【成果指標】

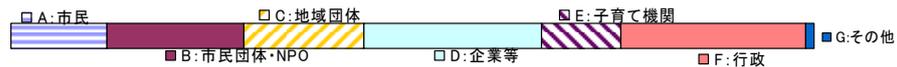
① 江の島や湘南海岸の観光地としての魅力に満足している人の割合

② 藤沢市観光客数

【現状値】 ①34% ②963万人

【めざそう値】 3年後：①40% ②980万人 6年後：①50% ②1,000万人

【役割の担い手】 ①A:12% B:17% C:15% D:22% E:10% F:23% G:1%



②A:10% B:17% C:15% D:24% E:7% F:24% G:3%



政策と政策評価のための主要な指標

事業から生じる効果を測定するための主要な指標を示します。

《政策-66》 新たな観光資源の開発と外国人誘客による、地域活性化の推進

＜成果の視点＞ 観光の魅力を高め、国内外からの観光者が訪れていること

〔主要な指標〕 外国からの来藤観光客数

《政策-67》 多様な地域資源を活かした、観光立市のまちづくりの推進

＜成果の視点＞ 観光を起点とした活気あるまちであること

〔主要な指標〕 片瀬江の島観光案内所の利用者数

戦略目標に関するまちづくり事業の状況

事業の区分	事業数
まちづくり市民連携事業	1 事業
まちづくり行政事業	8 事業 (うち 地域で考え、全市で実施する事業 0事業) (うち 地域と全市が連携して行う事業 1事業)

事業名	誘客宣伝事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-61-19-66-1	地域分権区分					
事業内容	<p>広く観光客を集客するため、観光宣伝事業の実施、民間団体等が実施するイベントへの参画、観光ホームページの更新により、誘客宣伝事業を実施します。</p> <p>1 観光宣伝事業(観光親善大使事業、観光キャラバン事業、観光マップ各種作成等)</p> <p>2 観光イベントへの支援(湘南・江の島手づくりボートレース、新春江の島歴史散歩事業等)</p> <p>3 観光振興計画に掲げる新規及び拡充事業(湘南C-Xの活用促進の研究等)</p>					
活動指標	海水浴客を除く観光客数					
目標値	現状値	963万人	3年後目標値	1,040万人	6年後目標値	1,070万人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	誘客宣伝については、誘致活動を民間事業者と連携して実施します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	検討・実施	→	実施	→	→	→
(地域)						
事業の成果	観光資源の有効活用と地域の特性を活かした観光事業により魅力ある観光地へと繋がります。観光客の増加による地域の活性化が図られます。また、各分野における専門団体等様々な主体による観光イベントへの支援により、効果的に観光客誘致が図られます。					
実施主体	藤沢市経済部観光課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	外国人観光客誘致事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-61-19-66-2	地域分権区分					
事業内容	<p>東アジア諸国を最重点地区とし、様々なニーズを捉えた観光商品の開発・推進を図り、効果的な海外プロモーションを展開するとともに、外国語案内表記や観光客向け店舗の多言語化、観光ガイドの育成・活用等、受入体制の充実を図り、外国人観光客の誘致を図ります。</p> <p>1 外国人観光客の受入体制整備</p> <p>2 教育旅行誘致の促進</p> <p>3 外国人観光客の市場動向の把握</p> <p>4 市場特性に応じた観光プロモーションの展開</p>					
活動指標	年間外国人観光客数					
目標値	現状値	84,000人	3年後目標値	94,000人	6年後目標値	103,000人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	外国人観光客への魅力ある観光地へと導く仕組みづくりを民間事業者、地域団体等と連携して実施します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	検討・実施	実施	→	→	→	→
(地域)						
事業の成果	外国人観光客来訪者の現状分析や外国人旅行社との商談会など有効な観光プロモーションの展開により外国人観光客数の増加や教育旅行誘致の促進が図られます。また、受入体制の充実により、来訪する外国人観光客が気軽に気持ちよく観光できるようになり、再来訪のきっかけとなり観光リピーターへと繋がります。					
実施主体	藤沢市経済部観光課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	広域観光圏推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-61-19-66-3	地域分権区分					
事業内容	<p>神奈川県及び県内観光都市(横浜市, 鎌倉市, 箱根町等)で構成する各協議会や県外観光都市など各自治体の特性を活かした広域連携を図ることにより, 圏域内の観光地を結ぶ周遊型商品の開発により相互の観光消費促進を図る。また, 宣伝活動及び情報発信の広域での実施により観光客の誘致を図ります。</p> <p>1 広域での観光魅力づくりの推進 2 多様な主体と連携した宣伝活動の展開</p>					
活動指標	一人当たりの平均消費額					
目標値	現状値	4,230円	3年後目標値	4,400円	6年後目標値	4,520円
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	周遊型商品開発や宣伝活動について, 近隣自治体, 民間事業者と協働, 連携して実施します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	広域観光圏の推進により, 近隣自治体が一体となって事業を実施することで, 観光地において交通の拠点や通過拠点としての日帰り滞在だけでなく, 宿泊を伴う滞在型観光の促進が図られます。					
実施主体	藤沢市経済部観光課 (連絡先) 0466-25-1111					

事業名	湘南藤沢フィルム・コミッション事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-61-19-67-1	地域分権区分					
事業内容	<p>本市を舞台とする映画・ドラマ・CM等のロケ誘致に積極的に取り組むとともに, 更なる市内全域における撮影環境の整備を図り, 観光地藤沢の情報発信及び撮影隊による直接的経済効果を図ります。</p> <p>1 本市が舞台となる映像作品の誘致 2 フィルム・コミッション(FC)フォーラムの開催やHPの充実による市民啓発の推進 3 FC事業から新たな観光振興及びシティセールスを図り, さらなる観光客誘致への促進</p>					
活動指標	間接的経済効果					
目標値	現状値	91億円	3年後目標値	100億円	6年後目標値	110億円
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	受託者との調整について役割を担います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	本市舞台の映像作品の誘致により, 観光地藤沢の情報発信をすることで観光誘客が図れます。また, 撮影隊による直接的経済効果が図られます。					
実施主体	藤沢市経済部観光課 (連絡先) 0466-25-1111					

事業名 観光施設整備事業							
体系コード		事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-61-19-67-2		地域分権区分					
事業内容		観光地における観光客の利便性の向上による誘客を図るために、観光等案内サインの充実や稚児ヶ淵レストハウス等の観光施設の整備及び維持管理を実施します。					
活動指標		年間観光客数(海水浴客除く)					
目標値		現状値	9,600千人	3年後目標値	10,400千人	6年後目標値	10,700千人
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		観光施設の整備及び維持管理について行政主体で実施します。					
事業スケジュール		第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)		H23	H24	H25			
(地域)		検討	計画・実施	実施	→		
事業の成果		観光施設の整備及び維持管理の実施を行うことで、観光地における観光客の利便性の向上及び市民サービスの向上により誘客が図られます。					
実施主体		藤沢市経済部観光課 (連絡先) 0466-25-1111					

事業名 通年型観光推進事業							
体系コード		事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-61-19-67-3		地域分権区分					
事業内容		観光客数の増加傾向を維持するために、四季折々の誘客イベントの実施、花、富士見スポット、農園・果樹園等の地域資源を活用した誘客事業や女性をターゲットとした観光プログラムを開発することで通年型の観光地化の推進を図ります。 1 湘南江の島フェスティバル事業 2 北部観光事業 3 藤沢市花火大会 4 観光振興計画に掲げる新規及び拡充事業					
活動指標		新規・拡充事業の実施数(事業)					
目標値		現状値	2事業	3年後目標値	6事業	6年後目標値	6事業
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		イベントの検討や実施及びPRについて民間事業者、地域等との連携して実施します。					
事業スケジュール		第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)		H23	H24	H25			
(地域)		検討・実施	実施	→	→	→	→
事業の成果		秋・冬・春のシーズンにも誘客イベントを実施することで、四季を通じた観光客の誘致が図られ、通年型の観光地づくりの推進に寄与します。					
実施主体		藤沢市経済部観光課 (連絡先) 0466-25-1111					

事業名	海上観光活性化事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-61-19-67-4	地域分権区分					
事業内容	相模湾における海上交通を利用した新たな観光資源開発について、神奈川県や近隣都市などと連携を図り、葉山港・大磯港・湘南港・真鶴港を中心とする相模湾クルーズ及び千葉県との連携による東京湾クルーズ等により観光振興を図ります。 1 東京湾・相模湾クルージング事業 2 江の島周辺海上交通推進事業					
活動指標	海上観光ルート数					
目標値	現状値	0ルート	3年後目標値	2ルート	6年後目標値	3ルート
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	企画、広報支援等について民間事業者と連携して実施し、事業実施については民間事業者が実施します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	検討	→	検討・実施	実施	→	→
(地域)						
事業の成果	都市間の相互交流での観光客誘致が図られます。クルージング事業の実施に伴い、地場産業を活用した事業展開に結びつけることで、地域の活性化に寄与します。また、事業実施については、民間海上交通事業者が行うため民間力の活用が図られます。					
実施主体	藤沢市経済部観光課 (連絡先) 0466-25-1111					

事業名	観光拠点施設推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-7-61-19-67-5	地域分権区分	地域と全市が連携して行う事業(地域+全市)				
事業内容	湘南海岸における観光機能、休憩機能、情報発信機能、地域連携機能と付帯機能としてマリン・ビーチスポーツ機能をもつ施設として、海岸線を利用した観光拠点を活用し、観光客の滞在時間の延長や消費行動に結びつける際の中心的役割を果たす観光拠点施設の推進を図ります。					
活動指標	観光拠点施設の整備進捗度					
目標値	現状値	—	3年後目標値	—	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	観光拠点施設の検討について、地域、企業、NPO・市民団体と連携して実施します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	検討	→	→	→	→	→
(地域)	検討	→	→	→	→	→
事業の成果	南部の観光拠点施設として、観光情報発信や地産地消等の地域連携機能を持つ施設の設置により、回遊性を高めるとともに消費観光につなげることで地域の活性化が図られます。					
実施主体	藤沢市経済部観光課 (連絡先) 0466-25-1111					

事業名	セーリング体験ツアー事業					
体系コード	事業区分	まちづくり市民連携事業				
3-7-61-19-67-6	地域分権区分					
事業内容	市内宿泊とセーリングをセットにしたツアーを実施します。					
活動指標						
目標値	現状値	—	3年後目標値	—	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市観光協会(宿泊施設)と連携しています。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	「多様な地域資源を活かした, 観光立市のまちづくり」に寄与します。					
実施主体	NPO湘南港マリンセンター			(連絡先) 0466-35-8576		

都市ビジョン3 さらなる可能性を追求する創造発信都市

藤沢づくりのめざす方向性

8 公共資産の維持管理と有効活用

公有地等の公共的な保有資産の積極的な活用とともに、公共施設の集約・移転等により生じる跡地、施設の有効活用、地域ニーズに合った資産を活用します。そのためには、公共施設・都市基盤施設の老朽化の時期を見据えて、既存施設の保全、再構築、機能更新等、社会資本の有効活用と長寿命化をめざします。

ふじさわ未来課題

71 多様な連携を通じて、市民が望むサービスが提供されていること

～まちづくり情報～

- ① 藤沢市と茅ヶ崎市、寒川町は、1962年（昭和37年）から任意の協議会として「湘南広域都市行政協議会」を設立し、様々な活動を行ってきました。2009年（平成21年）には、常設事務局を設置し、協議会の運営体制について検討した結果、基盤強化を図るため2010年（平成22年）4月に地方自治法252条2に基づく法定協議会をとって「湘南広域都市行政協議会」を設立しました。住民サービスの向上、地域の活性化、行政の合理化、能率化を目指し、積極的な活動を進めています。
- ② 神奈川県と平塚市、伊勢原市、秦野市、茅ヶ崎市、藤沢市、二宮町、大磯町、寒川町の5市3町は、広域での課題を調査研究しまた解決の方法を探るため、湘南地区市町連絡協議会を設置し、活動しています。
- ③ 藤沢市は特定の課題について、より効果的な解決を図るため、鎌倉市、綾瀬市、大和市、南足柄市などと連携した活動を行っています。



【戦略目標】

20 多様な主体が広域連携するまち

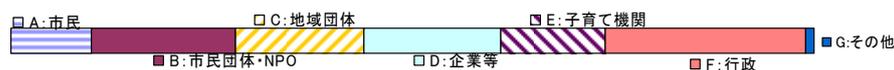
【成果指標】

① 近隣市町との連携と協力による広域行政運営の推進への満足度

【現状値】 ①15%

【めざそう値】 3年後：①20% 6年後：①30%

【役割の担い手】 ①A:10% B:18% C:16% D:17% E:13% F:25% G:1%



政策と政策評価のための主要な指標

事業から生じる効果を測定するための主要な指標を示します。

《政策－68》 湘南広域都市行政協議会における広域行政の推進

＜成果の視点＞ 法定協議会の仕組みを通じた連携・協力によって、広域行政サービスや地域活性化につなげていくこと

〔主要な指標〕 湘南広域都市行政協議会の年間事業参加者数

《政策－69》 近隣市との都市連携の推進

＜成果の視点＞ 藤沢市と鎌倉市、綾瀬市、大和市、海老名市との都市連携を通じて、共通する行政課題を解決して、広域行政サービスや地域活性化につなげていくこと

〔主要な指標〕 広域行政課題の検討数

《政策－70》 市域を越えた活動主体間の連携のしくみづくりの推進

＜成果の視点＞ 行政だけでなく、市民、市民ボランティア、NPO、大学、企業等が市域を越えてさまざまな連携をおこなうこと

〔主要な指標〕 藤沢市と南足柄市の市民交流事業参加者数

戦略目標に関するまちづくり事業の状況

事業の区分	事業数
まちづくり市民連携事業	0 事業
まちづくり行政事業	5 事業
	(うち 地域で考え、全市で実施する事業 0事業) (うち 地域と全市が連携して行う事業 0事業)

事業名	湘南広域都市行政推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-8-71-20-68-1	地域分権区分					
事業内容	「湘南広域都市行政協議会における広域行政の推進」を図るために、藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町の2市1町で構成する湘南広域都市行政協議会では、連携して効率的かつ効果的な広域的市民サービスの向上や地域活性化を推進するため、パスポートセンター開設の検討、関係市町の公益の向上に資する政策の立案、地方分権の推進に関する調査研究、環境保全、就農支援、新産業の創出、福祉の向上等に関する取り組みを進めます。					
活動指標	連携施策の数					
目標値	現状値	16施策	3年後目標値	18施策	6年後目標値	20施策
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	広域的な市町民ニーズに基づき、住民サービスの向上、地域の活性化、行政の合理化及び能率化につながる様々な施策の実現を図るため、新たな自治モデルたる広域連携施策について検討を進めます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(地域)						
事業の成果	広域連携の成果として、幅広く住民サービスの向上が図られると同時に、行政の合理化、効率化が進みます。					
実施主体	藤沢市経営企画部経営企画課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	パスポートセンター開設・運営事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-8-71-20-68-2	地域分権区分					
事業内容	藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町の2市1町では、広域的市民サービスの向上や地域活性化を推進するため、一定規模以上の圏域に対して権限移譲が受けられる旅券事務について、広域連携により共同処理するパスポートセンターの開設・運営を進めます。					
活動指標	2市1町のパスポート取得者の流出率					
目標値	現状値	100%	3年後目標値	5%	6年後目標値	3%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	権限移譲に向けた県との連絡調整及び権限移譲を行います。パスポート発給業務を運営します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	検討	実施	→	→	→	→
(地域)						
事業の成果	広域連携の成果として、幅広く住民サービスの向上が図られると同時に、地域経済の活性化が進みます。					
実施主体	藤沢市経営企画部経営企画課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	広域行政推進関係事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-8-71-20-69-1	地域分権区分					
事業内容	自治体個々では限界のある都市基盤、広域交通ネットワークやそれを活用した新産業の創出、経済、観光、緑地保全、防災等の共通する課題について、本市と近隣市、神奈川県が連携して効率的かつ効果的な広域的市民サービスの向上や地域の活性化を推進します。湘南広域都市行政協議会、湘南市町連絡協議会等を通じた広域行政課題の解決に向け、県からの権限移譲を見据えながら連絡調整、広域行政等に係る調査研究を行います。					
活動指標	都市連携協定事業の数					
目標値	現状値	0事業	3年後目標値	1事業	6年後目標値	3事業
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は広域的なサービスにより効率、効果を向上させるため市民、地域と協働、連携しながら主体的に活動します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	検討	→	実施	→	→	→
(地域)						
事業の成果	本市と近隣市、神奈川県が連携して効率的かつ効果的な広域的市民サービスの向上や地域の活性化の推進に寄与します。					
実施主体	藤沢市経営企画部経営企画課 (連絡先) 0466-25-1111					

事業名	中小企業勤労者福祉サービスセンター事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-8-71-20-69-2	地域分権区分					
事業内容	中小企業の福利厚生の上昇と従業員の定着化向け、(財)藤沢市産業振興財団を中心として、中小企業事業主と行政が連携し、勤労者福祉サービスセンター事業(中小企業従業員等福利共済事業)を充実・発展させます。 県内の勤労者福祉共済実施自治体・団体等との連携を強化し共同事業の充実を図るとともに、勤労者福祉サービスセンター未設置の近隣市町との新たな連携により勤労者福祉サービスセンターの広域化を推進し、多様な連携を通じた勤労者向けサービスの向上を図ります。					
活動指標	会員数の拡大					
目標値	現状値	7,100人	3年後目標値	9,000人	6年後目標値	10,000人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	(財)藤沢市産業振興財団が中小企業勤労者福祉サービスセンター事業を運営します。中小企業事業主は会費を負担し、市は管理的経費に対する助成、神奈川県・近隣市町との連携の推進などを行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(地域)						
事業の成果	中小企業が独自に行うことが難しい福利共済事業を充実することにより、中小企業勤労者の福祉の向上、従業員の定着化、中小企業の経営安定が図られます。					
実施主体	藤沢市経済部産業振興課 (連絡先) 0466-25-1111					

事業名	多様な主体による広域連携推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-8-71-20-70-1	地域分権区分					
事業内容	広域交通ネットワークや経済、観光等の課題について、県内の市町村との広域連携によって広域的市民サービス機能の向上や都市間交流を推進します。具体的には、旧南足柄中学校を活用した学習体験交流や本市の遊覧の盆と南足柄市の金太郎祭への相互参加などを踏まえた文化交流、市民交流の推進を図ります。					
活動指標	跡地活用等に向けた調査・研究の数					
目標値	現状値	0件	3年後目標値	1件	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	行政は学習体験交流の調査研究を行い、関係機関との調整をする役割を担います。また、実施にあたっては、市民との協働により、市民交流の場としての役割も機能するように主体的に活動します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
	H23	H24	H25			
	(市域全体)					
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	学習体験交流を行うことにより、県内郷土の愛着心を育み、親子自然体験や学習体験が実現できます。両市の祭、イベントへの相互参加を図ることにより、市民レベルでの文化交流が実現できます。					
実施主体	藤沢市経営企画部経営企画課					(連絡先) 0466-25-1111

ふじさわ未来課題

67 移動や利用にあたり、誰でも利用できる道路や施設であること

～まちづくり情報～

- ① 国土交通省では、「どこでも、だれでも、自由に、使いやすく」というユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、今後、身体的状況、年齢、国籍などを問わず、可能な限り全ての人が、人格と個性を尊重され、自由に社会に参画し、いきいきと安全で豊かに暮らせるよう、生活環境や連続した移動環境をハード・ソフトの両面から継続して整備・改善していくという理念に基づき国土交通行政を推進するため、2005年（平成17年）に「ユニバーサルデザイン政策大綱」を策定しています。
- ② 藤沢市では、2002年（平成14年）に「藤沢市交通バリアフリー化基本構想」を定め、重点整備地区の特定経路から順次バリアフリー化の整備を進めています。



この「ふじさわ未来課題」に関連する事業

【まちづくり市民連携事業】

市内の企業では、次のような取り組みが行なわれています。（藤沢市商業振興の規定による地域貢献計画より）

- ① 高齢者、障がい者にもやさしい店内施設

【戦略目標】

2.1 誰にでも優しいユニバーサルデザインのまち

【成果指標】

① 市のバリアフリー化ができていると感じる人の割合

【現状値】 ①21%

【めざそう値】 3年後：①30% 6年後：①40%

【役割の担い手】 ①A:12% B:15% C:18% D:16% E:14% F:24% G:1%



政策と政策評価のための主要な指標

事業から生じる効果を測定するための主要な指標を示します。

《政策-7.1》 人と環境にやさしい都市空間の構築

＜成果の視点＞ 環境に配慮がなされているが、利便性を損なわないまちであること

〔主要な指標〕 公園愛護会の数・参加人数

《政策-7.2》 公共交通のユニバーサルデザインの推進

＜成果の視点＞ 誰でも不安や困難のない公共交通であること

〔主要な指標〕 市のバリアフリー化ができていると感じる人の割合（60歳以上）

戦略目標に関するまちづくり事業の状況

事業の区分	事業数
まちづくり市民連携事業	0 事業
まちづくり行政事業	2 事業 (うち 地域で考え、全市で実施する事業 0 事業) (うち 地域と全市が連携して行う事業 0 事業)

事業名	自転車対策事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-8-67-21-71-1	地域分権区分					
事業内容	<p>駅周辺の自転車等駐車場の確保及び街頭指導・撤去等の放置防止対策を行い、良好な環境を確保します。</p> <p>1 藤沢駅周辺を中心とした放置防止や駐輪施設の確保 2 民間活力を導入した駐輪場整備に対する助成 3 駅前広場や道路の放置自転車等の対策(街頭指導, 撤去, 保管, 返還, 処分等) 4 市営駐輪場の「藤沢市防犯ガイドライン」に沿った安全確保及び運営に対する管理・指導</p>					
活動指標	駐輪場 増加収容台数(自転車・バイク)					
目標値	現状値	18,854台	3年後目標値	100台増	6年後目標値	500台増
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	鉄道事業者や商店会等が顧客等の駐輪場を確保することは、顧客に対するサービスの提供とともに施設設置者の責務であることから、民間が一定の役割を果たす必要があります。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	実施	→	→	→	→	→
(地域)						
事業の成果	駅周辺の自転車等駐車場の確保及び街頭指導・撤去等の放置防止対策を行うことで、放置台数の減少、良好な環境の確保、駅利用者の利便性向上等が図られます。					
実施主体	藤沢市土木部土木維持課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	鉄道駅エレベーター設置事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-8-67-21-72-1	地域分権区分					
事業内容	<p>公共交通のユニバーサルデザインの推進と人にやさしい社会づくりの推進を図るため、障がいのある人にもやさしい住環境の整備を行い、ユニバーサルデザインの視点立った施設整備の充実を図ります。</p> <p>1 湘南モノレール湘南江の島駅にエレベーター等設置に向けた検討を行います。</p>					
活動指標	エレベーターの設置					
目標値	現状値	0基	3年後目標値	1基	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は、湘南モノレール湘南江の島駅にエレベーターを設置することに対して助成を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	検討・計画	→	実施			
(地域)						
事業の成果	障がい者や高齢者等が安全かつ身体的負担の少ない方法でモノレールに乗降できるようにするために整備を行います。障がい者や高齢者等の行動範囲の拡大が図られるとともに、利用者の増加が見込まれます。					
実施主体	藤沢市保健福祉部障害福祉課					(連絡先) 0466-25-1111

～まちづくり情報～

- ① 藤沢市では、NPM（ニュー・パブリック・マネジメント＝新たな公共経営）の考え方を施設マネジメントの基本に置きながら、本市施設の現状を積極的に公開するとともに、今後の公共施設のあり方について幅広い議論を進めることが重要と考え、その基礎的な資料となる「公共施設マネジメント白書」を作成しました。
- ② 藤沢市が保有する公共施設約78.4万㎡（小・中学校、市民センター、公民館、図書館、市民の家、保育園、市民病院、湘南台文化センター、市民会館、市庁舎、児童館、地域子供の家）の約57%の約44.6万㎡が旧耐震基準で建設され、全体の約54%の約42万㎡が建設から20～39年が経過しています。更に、一般に建築物の寿命とされる築30年以上の施設は全体の52.3%の約41万㎡であり、老朽化施設が全体の過半を占めています。



【戦略目標】

22 未来に引き継ぐ公有財産と社会資本を有効活用するまち

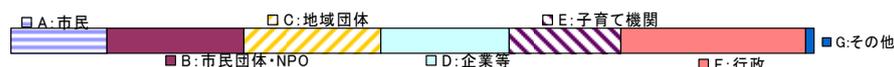
【成果指標】

①次世代に社会資本が適正な状態で引き継げると思う市民の割合

【現状値】 ①13%

【めざそう値】 3年後：①20% 6年後：①30%

【役割の担い手】 ①A:12% B:17% C:17% D:16% E:14% F:23% G:1%



政策と政策評価のための主要な指標

事業から生じる効果を測定するための主要な指標を示します。

《政策－73》 都市基盤施設の長寿命化対策の推進

＜成果の視点＞ 都市インフラの質は維持されながら、安定して使い続けられること

〔主要な指標〕

《政策－74》 公共資産の有効活用の推進

＜成果の視点＞ 土地や建物等の公共資産が、公民連携により有効に活用され、長期安定的な財源確保が可能になっていること。特に施設については、利用率や必要性を十分検討の上、維持・廃止・統合等について方針が示されていること

〔主要な指標〕 再整備に当たっての有効活用が検討されている施設数

《政策－75》 公共施設の長寿命化と再構築の推進

＜成果の視点＞ 公共施設によるサービスが、安定して提供されていること

〔主要な指標〕 公共施設の障害に起因する重大なサービスの停止時間

《政策－76》 学校教育施設の有効活用の推進

＜成果の視点＞ 学校教育施設が有効に活用され、地域のくらしやすさにつながる

〔主要な指標〕 学校教育施設の有効活用数

戦略目標に関するまちづくり事業の状況

事業の区分	事業数
まちづくり市民連携事業	0 事業
まちづくり行政事業	15 事業 (うち 地域で考え、全市で実施する事業 3事業) (うち 地域と全市が連携して行う事業 0事業)

事業名	公園長寿命化改修事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-8-67-21-73-1	地域分権区分					
事業内容	公園緑地を市民に安心して、安全に利用してもらうため、施設を点検調査するとともに、計画的な維持管理計画の策定により施設をより長く安全に使用し、既存施設の有効活用を図ります。また、防犯ガイドラインを踏まえ、老朽化に伴う施設の改築・更新とバリアフリー化を行い、より一層魅力的な、誰にもやさしい公園として利用の促進を図ります。					
活動指標	公園施設の改修率					
目標値	現状値	28%	3年後目標値	46%	6年後目標値	64%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	公園の改修時には、整備内容について、公園利用者・地域市民の意見を地域主体で取りまとめるなどして、地域ニーズに合わせた公園への再整備を進めます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	より多くの市民が安全・安心に利用することが可能となり、公園が地域のふれあい、憩いの場として有効活用されます。また公園利用者が増え、公園に対する親しみ、愛着を持ってもらうことで、公園愛護会活動への参加を促します。					
実施主体	藤沢市まちづくり推進部まちづくりみどり推進課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	下水道施設再生事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-8-69-22-73-1	地域分権区分					
事業内容	下水道施設の計画的な修繕・改築等の長寿命化対策事業を実施します。また、今後とも健全な下水道事業経営を図るとともに、下水道施設としての地球環境の保全に資するため、施設の長寿命化対策等により効率的かつ効果的な施設再生を推進します。 1 下水道管路の長寿命化計画策定及び長寿命化対策(修繕・改築)事業の実施 2 下水道施設の長寿命化計画策定及び長寿命化対策(修繕・改築)事業の実施 3 下水道施設の高効率・省エネルギー型機器の導入、新エネルギー導入等の検討					
活動指標	長寿命化対策設備数					
目標値	現状値	0設備	3年後目標値	18設備	6年後目標値	34設備
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	計画段階から市民等の意見を聴き策定した「湘南ふじさわ下水道ビジョン」に基づき、行政が主体となって、下水道施設の計画的な修繕・改築等の長寿命化対策事業を実施します。また、効率的かつ効果的な施設再生により、今後とも健全な下水道事業経営を図るとともに、地球環境の保全に貢献します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	計画的な下水道施設再生を進めることにより、下水処理に伴う都市機能の維持並びに資源・エネルギー循環の推進が図られ、「都市基盤施設の長寿命化対策の推進」並びに「湘南ふじさわ下水道ビジョン」の基本目標「安全・安心なまちづくりへの貢献」及び「自然・ひと・まちが共生する都市を次世代につなぐ」に寄与します。					
実施主体	藤沢市土木部土木経営課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	橋りょう長寿命化推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-8-69-22-73-2	地域分権区分					
事業内容	<p>都市基盤の長寿命化対策の推進を図るため、予防保全的な維持管理を展開します。また、そのことにより橋りょうの架け替えによる費用を削減し、事業費の平準化を図ります。</p> <p>1 橋りょう長寿命化対策事業 本市管理の道路橋の長寿命化修繕計画策定を行い、予防保全的な修繕工事を実施して橋りょうの延命化を図ります。</p> <p>2 橋りょう耐震対策事業 市内に架かる橋りょうの内、緊急輸送路及び避難路に係る橋りょう(36橋)と、利用者が多い藤沢駅南北デッキ(2橋)を対象として、耐震補強・落橋防止装置の設置を実施します。</p>					
活動指標	①橋りょう長寿命化点検(橋)②橋りょう耐震対策(橋)					
目標値(累計)	現状値	①59橋②18橋	3年後目標値	①189橋②20橋	6年後目標値	①378橋②26橋
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	耐震対策設計, 耐震対策工事, 国県補助金の確保, 橋りょう点検を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	予防保全的な維持管理を実施することにより、橋りょうの延命化が図られます。橋りょうの耐震補強・落橋防止装置の設置を行い、耐震性の向上が図られます。					
実施主体	藤沢市土木部土木維持課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	引地川水系橋りょう架替事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-8-69-22-73-5	地域分権区分					
事業内容	<p>都市基盤の長寿命化対策の推進を図るため、河川改修事業に併せて橋りょうの架替を実施します。</p> <p>1 橋りょう架替事業 神奈川県による引地川および蓼川の総合治水対策特定河川事業に伴う架替事業で、県、大和市、綾瀬市と共に取り組む広域連携事業です。河川改修事業の中で架替を実施することにより長寿命化を図るとともに、架替費用の分散化を図ります。治水に伴う架替と計画道路の幅員に併せた拡幅を行い、車両交通の円滑化と歩行者の安全性を確保します。事業化の時期については、神奈川県河川改修計画の進捗に併せて進めてまいります。</p>					
活動指標	橋りょうの架替完了進捗度					
目標値(累計)	現状値	0%	3年後目標値	0%	6年後目標値	43%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	架替工事の執行, 県との協議, 関係機関協議を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	検討	実施	→	→	→	→
事業の成果	河川改修事業の中で架替を実施することにより橋りょうの更新が図られます。神奈川県施工の引地川河川改修事業の進捗に併せ、改修計画に整合した橋りょう架替を行い、水害対策の向上を図ります。					
実施主体	藤沢市土木部土木維持課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	公共資産有効活用推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-8-69-22-74-1	地域分権区分					
事業内容	<p>本市が保有する土地、約404.7万㎡、建物約78.4万㎡の公共資産を、これらの利用目的、利用率、稼働状況などを踏まえて洗い出しをし、財政寄与・さらなる市民サービスの向上を目指します。</p> <p>1 公共施設の有効活用の推進 市が所有する土地・建物等の交友資産を対象として有効活用の検討を行います。</p> <p>2 資産台帳整備事業 適切な維持管理と資産の有効活用策を構築するための資産台帳の整備検討</p>					
活動指標	資産の有効活用検討件数					
目標値	現状値	0件	3年後目標値	3件	6年後目標値	5件
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	公募による民間からのアイデアにより、民間の資金とノウハウの活用が期待できる。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	<p>【a 公共施設の有効活用の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財産の把握と換価を含めた適切な維持管理と資産の有効活用の促進が図られる。 <p>【b 資産台帳整備事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資産台帳システムの導入整備による資産の有効活用策の迅速な調査・検討ができる。 					
実施主体	藤沢市経営企画部資産経営課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	公共建築物の長寿命化と利活用の推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-8-69-22-75-1	地域分権区分					
事業内容	<p>公共施設マネジメント白書を作成し、広く市民に情報提供することにより、施設有効利用の推進をさせるとともに、公共建築物の維持保全をより計画的に行っていきます。</p> <p>【a 公共施設マネジメント白書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「公共施設マネジメント白書」を活用した事業啓発を図るとともに、老朽化した施設について公民連携提案制度により計画的な整備を図ります。 <p>【b 公共建築物維持保全事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効率の良い修繕による維持保全、長寿命化を目指して、紙台帳のシステム化を行い、維持保全費の平準化を図ります。 					
活動指標	維持保全事業実施施設進捗率					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	15%	6年後目標値	30%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	公共施設マネジメント白書を活用した機能更新や再編について、地域経営会議や民間の資金とノウハウを活用した公民連携の基礎資料として活用する。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	<p>【a 公共施設マネジメント白書】・平成20年度に発行した白書の定期的な更新により施設の利用実態等を市民に情報提供し、施設のあり方を市民目線で検討できる資料として使用が可能となる。</p> <p>【b 公共建築物維持保全事業】</p>					
実施主体	藤沢市経営企画部資産経営課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名 市庁舎等公共施設再整備事業							
体系コード		事業区分		まちづくり行政事業(全市)			
3-8-69-22-75-2		地域分権区分					
事業内容 市庁舎エリア、市民会館エリア及び湘南C-X C-1街区の3つの土地を活用し、公共施設を再構築していきます。 1 庁舎、市民会館及び南市民図書館等の建て替えに向けた事業手法やファイナンスのシミュレーションを行い、民間事業者からのアイデア提案募集要綱の整備 2 市庁舎等公共施設の再構築及び藤沢駅周辺地区再整備に当たっての課題解決や種々の議論を行う組織として、庁内の検討体制として「藤沢市公共施設再整備等推進本部会議」を設置							
活動指標		庁舎等の建設の進捗度					
目標値		現状値	0%	3年後目標値	30%	6年後目標値	80%
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		市庁舎等の再整備に対し、敷地活用等について公募により民間からアイデアを募り、民間の資金とノウハウの活用や、公共施設の余剰床面積への民間施設の導入などが期待できる。					
事業スケジュール							
(市域全体)		第1期			第2期	第3期	第4期
		H23	H24	H25			
(地域)		実施	→	→	→	→	→
事業の成果 【公共建築物再整備事業手法検討】【市庁舎、市民会館等の再整備】 ・老朽化、耐震性能の低下による市庁舎を建て替えることにより中枢指令機能を大規模災害発生時にも機能させると共に、多様な市民ニーズに応えるための施設整備の実施を図ることができる。							
実施主体 藤沢市経営企画部資産経営課 (連絡先) 0466-25-1111							

事業名 元藤沢北高等学校敷地の利活用推進事業							
体系コード		事業区分		まちづくり行政事業(全市)			
3-8-69-22-75-3		地域分権区分					
事業内容 元藤沢北高等学校敷地の利活用を推進していきます。 現在、校舎棟がある市街化部分と市街化調整区域の一部17,953.85㎡については、土地の有効活用を図ります。 また、市街化区域(第一種低層住居専用地域)約13,000㎡については、有効活用の検討が必要であり、①総合計画に基づき資産の利活用を図る。平成25年3月を末日目途に湘南看護専門学校、生涯学習課倉庫の移転を図る。②敷地の有効活用に当たっては、市民の要望・提案を踏まえ利用計画を作成し具体化を図っていきます。							
活動指標		換価を含めた土地の有効活用					
目標値		現状値	0%	3年後目標値	30%	6年後目標値	90%
実績値		H23		H24		H25	
役割期待		地域住民による敷地の有効利用又は活用について住民自らの検討によりその方策を導き出すことが期待できる。					
事業スケジュール							
(市域全体)		第1期			第2期	第3期	第4期
		H23	H24	H25			
(地域)		実施	→	→	→	→	→
事業の成果 消防防災訓練センターで整備され、地位の防災機能の強化がされた。その他の残る敷地について有効活用を図ることにより広大な土地の利用が確定される。							
実施主体 藤沢市経営企画部資産経営課 (連絡先) 0466-25-1111							

事業名	藤沢都心部地区等の公共施設再構築推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-8-69-22-75-4	地域分権区分					
事業内容	<p>藤沢都心部地区の公共施設の再構築を行います。 藤沢都心部地区には、土地は、約4.4万㎡ある。また、民間ビルを賃貸している床面積が約4千㎡あり、公共施設再整備の中で集約を図ります。 また、老朽化・機能更新時期を迎えている藤沢公民館、村岡公民館、労働会館、シルバー人材センター、藤が岡寮、保育園等については、中長期の推進計画の中でスクラップアンドビルドを図り、建物の除却とあわせてエリア内の土地を含めた資産の有効活用を図ります。さらに、公共資産の有効活用を図るための組織として「公有地等活用検討委員会」を活用し、再整備計画の中で資産の有効活用を図ります。</p>					
活動指標	再整備検討件数					
目標値	現状値	0件	3年後目標値	2件	6年後目標値	4件
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	老朽化による機能更新を迎える施設の再整備においては公民連携により事業推進が期待できる。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・民間の資金とノウハウを生かした公民連携提案制度を活用し、財政支出の平準化を目指す。 ・施設の統廃合に向けた整備を図ることができる。 					
実施主体	藤沢市経営企画部資産経営課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	市民センター改築事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-8-69-22-75-5	地域分権区分	地域で考え全市で実施する事業(地域→全市)				
事業内容	<p>公共資産の有効活用と公民連携の視点に立って、公共施設等の地用実態や老朽化、機能更新の時期を踏まえ、計画的に市民センター等の改築等を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 六会市民センター改築 2 石川分館増改築 3 善行市民センター改築 4 遠藤市民センター青少年ホール改築 5 辻堂市民センター改築 6 鶴沼市民センター分館設置 					
活動指標	改築等を行った施設数					
目標値	現状値	0件	3年後目標値	1件	6年後目標値	3件
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	地域経営会議を中心とし、市民センター・公民館と連携する中で、地域コミュニティ施設の有効活用の視点に立った検討等を行うため、その役割が期待されます。また、民間事業者のノウハウや資金等を活用した施設整備を行うため、その役割が期待されます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	検討	→	実施	→	→	→
事業の成果	地域経営会議が市民センター・公民館と連携し、公共施設等の利用実態や老朽化、機能更新の時期を踏まえ、計画的な市民センター等の再構築の検討を行うことにより、地域主体のまちづくりが推進されるとともに、公共資産の有効活用が図られます。					
実施主体	藤沢市市民自治部市民自治推進課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	大庭台墓園立体墓地整備事業(特別会計)					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-8-69-22-75-6	地域分権区分					
事業内容	<p>公共施設の長寿命化と再構築の促進を進めるため、大庭台墓園立体墓地内の未整備となっている区画の納骨壇の整備を行い、墓地を有しない市民の墓地需用に応えます。 (整備内容)立体墓地・地下2階 1,847区画の増設、電気設備工事、トイレ・エレベーター設置、地下吹き抜け等の整備工事</p>					
活動指標	立体墓地納骨壇整備数					
目標値	現状値	2,853基	3年後目標値	4,700基	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市が主体となって、未整備となっている立体墓地地下2階の整備を行い、市民の墓地需要への対応を図ります。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	計画	実施				
事業の成果	<p>立体墓地において、現在造成済の区画は2013年(平成25年)ないし2014年(平成26年)には貸付が終了となるため、未整備となっている区画(地下2階)の納骨壇の整備を行い概ね2027年度(平成39年度)までの貸付を可能とすることにより、市民の墓地需要に応え、安心してゆとりある高齢期を平穩に暮らせるまちづくりの推進が図ることができます。</p>					
実施主体	藤沢市保健福祉部保健医療福祉課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	消防署所改築整備事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-8-69-22-75-7	地域分権区分					
事業内容	<p>市内消防体制の充実強化を目的とし、消防力の整備目標である「消防力の整備指針」に基づく整備計画及び老朽化した既存庁舎の改築整備を推進していくため、事業の必要性や優先順位などを精査するとともに、整備手法にあってもPFI事業や公民連携提案事業制度の検討を視野に入れ、有効な消防体制の確保をめざします。</p>					
活動指標	消防庁舎整備計画に基づく年度達成率					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	25%	6年後目標値	50%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	行政が主体となって、市民の安全・安心を確保するため、消防体制の充実強化を目的とした施設整備を担います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	<p>迅速な高度救命処置の実施可能が救命率の向上に繋がり、救急体制の充実強化に繋がるとともに、初動体制の確保及び市内全体の消防力の充実強化が図れます。</p>					
実施主体	藤沢市消防本部消防総務課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名 藤沢公民館改築事業							
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
3-8-69-22-75-8	地域分権区分	地域で考え全市で実施する事業(地域→全市)					
事業内容	市民をとりまく生涯学習環境向上のための事業を実施します。藤沢地区における市民の地域活動、学習文化活動及び防災等の拠点として、建築後47年以上経過して老朽化が著しい藤沢公民館の改築を検討します。 1 建設予定地に元県立藤沢高校跡地を利用することも含め、県との調整 2 地域経営会議において、地域の意見・要望等集約 3 市民センター化も含めた複合施設としての機能を備えた施設整備の検討 4 公有資産としての有効活用を視野に入れた整備内容の検討						
	活動指標	整備状況進捗度(%)					
	目標値	現状値	0%	3年後目標値	10%	6年後目標値	90%
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	地域経営会議等の市民(地域)団体は公民館と連携して、地域コミュニティ施設の有効活用の視点に立った改築事業の検討等を行います。 改築事業の手法について、行政が民間事業者のノウハウや資金等を活用した施設整備を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	(市域全体)						
(地域)	検討	実施	→	→	→		
事業の成果	駐車場の完備、バリアフリー化など利用者にとって利便性が図られ、市民サービス向上につながります。また、安心安全な施設提供ができ、災害時に地域防災拠点としてより適した施設となります。						
実施主体	藤沢市教育委員会生涯学習部藤沢公民館					(連絡先) 0466-25-1111	

事業名 村岡公民館改築事業							
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)					
3-8-69-22-75-9	地域分権区分	地域で考え全市で実施する事業(地域→全市)					
事業内容	市民をとりまく生涯学習環境向上のための事業を実施します。村岡地区における市民の地域活動、学習文化活動及び防災等の拠点、また多様化している行政サービスの身近な窓口としての施設が必要です。高齢者、子育て支援に対応した福祉施設の併設も望まれています。建築後44年以上経過して著しく老朽化している村岡公民館改築について検討します。 1 村岡地区まちづくり計画との調整 2 地域経営会議を始め地域団体等地域の意見・要望等の集約 3 市民センター化を含めた複合施設としての機能を備えた施設整備の検討 4 公有財産としての有効活用を視野に入れた整備内容の検討						
	活動指標	整備状況進捗度(%)					
	目標値	現状値	0%	3年後目標値	10%	6年後目標値	90%
	実績値	H23		H24		H25	
	役割期待	地域経営会議等の市民(地域)団体は公民館と連携して、地域コミュニティ施設の有効活用の視点に立った改築事業の検討等を行います。 改築事業の手法について、行政が民間事業者のノウハウや資金等を活用した施設整備を行います。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期	
	H23	H24	H25				
	(市域全体)						
(地域)	検討	実施	→	→	→	→	
事業の成果	駐車場の完備、バリアフリー化など利用者にとって利便性が図られ、市民サービス向上につながります。安心安全な施設提供ができ、災害時に避難場所としてより適した施設となります。						
実施主体	藤沢市教育委員会生涯学習部村岡公民館					(連絡先) 0466-25-1111	

事業名	学校教育施設の有効活用の推進事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-8-69-22-76-1	地域分権区分					
事業内容	児童生徒が「生きる力」を育むための教育課程と、安心して学習できる安全な教育環境づくりを前提とするなかで、学校等の教育施設は、地域の生涯スポーツ・地域コミュニティの拠点としての役割も求められています。このため、地域に開かれた学校づくりが重要であり、その一つとして学校等教育施設の有効活用についての検討を進めます。					
活動指標	検討会議の開催回数					
目標値	現状値	0回	3年後目標値	12回	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待						
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
	H23	H24	H25			
						
	検討	→	→	→	→	→
(地域)	制度活用	→	→	→	→	→
事業の成果	学校教育施設の有効活用について、課題を洗い出し、具体的な活用方法を検討することにより、学校が地域コミュニティの拠点施設とした活用が図られます。					
実施主体	藤沢市教育委員会教育総務部教育総務課					(連絡先) 0466-25-1111

都市ビジョン3
さらなる可能性を追求する創造発信都市

藤沢づくりのめざす方向性

9 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出

湘南の環境と文化、ブランド力等の地域の特性を活かした、魅力的な生活（「藤沢ライフスタイル」）や創造的な湘南の文化（「湘南カルチャー」）の創出をめざし、その魅力と価値を発信します。そして、市民一人ひとりが豊かな心を育み、地域と世界をつなぐ国際交流等を通じて人材を育て、文化にふれあう交流発信のまちをつくりあげることをめざします。

ふじさわ未来課題

76 訪れる人・住む人に配慮した心遣いや工夫があること

～まちづくり情報～

- ① 藤沢市には、国登録有形文化財が2件、国指定文化財が9件、県指定文化財が14件、市指定文化財が67件あります。
- ② 市では考古資料約21,200点、民族資料約7,170点、歴史資料約2,630点などを保管しています。
- ③ 市内では13地区で公民館まつりが行われ、約12万人の市民が参加しています。地域で市民と文化が交流し、楽しむイベントとして愛され、続けられています。
- ④ 毎年開催している市民まつりも37回を数え、約18万人の市民が来場しています。また、湘南台ファンタジアも12回開催されています。



【戦略目標】

23 地域の伝統や文化を継承，多様なライフスタイルが生まれるまち

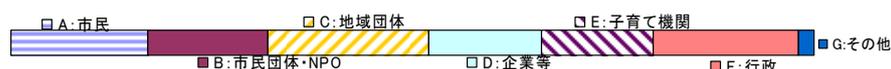
【成果指標】

① 伝統行事への参加割合

【現状値】 ①39%

【めざそう値】 3年後：①50% 6年後：①56%

【役割の担い手】 ①A:17% B:15% C:20% D:14% E:14% F:18% G:2%



政策と政策評価のための主要な指標

事業から生じる効果を測定するための主要な指標を示します。

《政策－77》 歴史・文化財の保存・継承活動の推進

＜成果の視点＞ 歴史，文化財等が保存され，次世代に引き継がれること

〔主要な指標〕 各地区などでの保存活動に関する事業数

《政策－78》 伝統文化の保存・継承活動の推進

＜成果の視点＞ 伝統文化が保存され，次世代に引き継がれること

〔主要な指標〕 伝統行事への20歳～30歳代の参加割合

《政策－79》 地域の市民文化活動の支援

＜成果の視点＞ 地域で市民文化活動が継承・発展・創造されていること

〔主要な指標〕 学校での書道ボランティア活動の延べ人数

戦略目標に関するまちづくり事業の状況

事業の区分	事業数
まちづくり市民連携事業	0 事業
まちづくり行政事業	4 事業 (うち 地域で考え，全市で実施する事業 0 事業) (うち 地域と全市が連携して行う事業 0 事業)

事業名	保存民家復原公開事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-9-76-23-77-1	地域分権区分					
事業内容	<p>博物館資料として保管している広文堂店蔵, 下土棚農家, 江の島漁師の家, 村岡の土蔵の4件の解体保存建物の移築復原を順次実施します。これらの建物は, 東海道沿いの商家, 市域北部の農家, 江の島の漁師(大海土)という藤沢市の地域性を代表するもので, 民家園を構成して公開活用を図り, 市民利用に供します。</p> <p>1 復原にあたっては, 建物の文化財的価値を損なわないようにしたうえで, 地域の要望をふまえながら, 伝統的な行事や生活文化を体験できる体験学習施設として整備します。</p> <p>2 市内に点在する文化財建物を市民団体等による管理に委ね, 回遊性を持った歴史ふれあいルートでネットワーク化して公開活用を図ります。</p>					
活動指標	復原計画の策定件数					
目標値	現状値	0件	3年後目標値	0件	6年後目標値	2件
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	行政は地域の要望をふまえながら保存民家の活用方法を把握し, 復原整備を担います。また, 管理については, 市民団体等によるものとして公開活用を図ります。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	検討	→	→	実施	→	→
(地域)						
事業の成果	復原された建物を市民の利用に供することで, より多くの体験学習の機会を提供することができます。					
実施主体	藤沢市教育委員会生涯学習生涯学習課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	映像資料整備公開事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-9-76-23-78-1	地域分権区分					
事業内容	<p>現在保有する映像を劣化から救うために, 新たなメディアに保存するなど整備を進め, 将来の市民に映像資産を引き継ぎます。</p> <p>1 フィルムの点検・清掃・修復(1年に2巻(計約60分)ずつ処理を施す)。</p> <p>2 修復済みフィルムのデジタル化・映像補正, フィルム(保存用)・DVD(公開用)作成</p> <p>3 修復が完了したフィルムは, 上映会を開催し多くの市民に公開することで成果を還元</p> <p>4 図書館等が保管するフィルムを調査し, 必要に応じて処理対象に追加。</p> <p>5 映像による記録作成を講ずるべき祭行事等を選び, 記録映画等を制作して公開</p> <p>6 市民の作成した映像記録を収集し, 図書館等において, 市民との協働により保存・活用</p>					
活動指標	整備された資料(映画)の本数					
目標値	現状値	0本	3年後目標値	0本	6年後目標値	6本
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	映像メディアを適正に保管し, 修復を施し, 市民に公開します。また, 市民の作成した映像記録を収集し, 図書館等において, 市民との協働により保存・活用を図ります。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
	検討	→	→	実施	→	→
(地域)						
事業の成果	現在保有する映像を新たなメディアに保存することで劣化から救い, 将来の市民に引き継ぐとともに, 復原された鮮やかな映像によって, 地域社会の記憶が具体化されます。これを用いて市民一般を対象としては映画上映会等の開催, 学校等においては郷土学習教材として貸し出しや出張上映などの活用を図ります。					
実施主体	藤沢市教育委員会生涯学習生涯学習課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	市指定史跡耕余塾の跡整備事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-9-76-23-79-1	地域分権区分					
事業内容	明治地区にある藤沢市指定史跡「耕余塾の跡」を安全かつ適切に管理し、歴史の継承と郷土愛の育成を図ります。					
活動指標	整備の進捗状況					
目標値	現状値	20%	3年後目標値	100%	6年後目標値	100%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は市指定史跡である「耕余塾の跡」の史跡整備を担います。整備事業計画に地域の方々から参画することにより、地域の要望を具現化し地域との協働を図ります。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	「耕余塾の跡」に近接したところには「旧三鶯八郎右衛門家住宅」が残り、地域の方々の協力により公開されています。このように、本市が誇る史跡、ゆかりの深い歴史的建物等の豊かな地域資源を次世代へと継承・発展させていくことで、郷土愛の育成を図ることができます。					
実施主体	藤沢市教育委員会生涯学習生涯学習課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	江の島歴史資産保存整備活用事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-9-76-23-79-2	地域分権区分					
事業内容	江の島に遺存する歴史的資産を適正に保存・活用することで、史跡としての江の島の文化財的価値の維持・向上を図ると共に、観光資源としても活用できるよう整備します。 1 コッキング温室遺構の国指定史跡化を目指し、国庫補助事業により整備を進めます。 2 戦争遺跡の調査を実施し、整備・活用を進めます。					
活動指標	整備の進捗状況					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	10%	6年後目標値	40%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	市は遺構の文化財的価値の調査、評価、文化財指定、登録、保存活用計画策定を行います。事業検討に関係機関が参画することで、地域要望を具現化し地域との協働を図ります。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	検討	→	計画	実施	→	→
事業の成果	文化財的価値についての評価を得ることで、文化の薫る観光地としての価値も加わることとなります。また、今後の歴史・文化の継承や地域の特性を活かした文化の発展に寄与し、市民に還元することができます。					
実施主体	藤沢市教育委員会生涯学習生涯学習課					(連絡先) 0466-25-1111

ふじさわ未来課題

81 地域の記憶や文化が継承され、発展すること

～まちづくり情報～

- ① 藤沢市では、「藤沢市展」「藤沢音楽祭」「ロビーコンサート」などを開催しています。
- ② 「藤沢市民オペラ」は、優れた芸術の普及と地域に根ざした市民文化の創造を目的に市民参加の自主事業として20回以上の講演を行っています。
- ③ 学生・地域住民・商店街・企業・行政などが協力して、イルミネーション・ツリーの装飾やイベントの開催を通じて、湘南台の冬を演出する「イルミネーション湘南台」も地域の風物詩となっています。



この「ふじさわ未来課題」に関連する事業

【まちづくり市民連携事業】

市内の企業では、次のような取り組みが行なわれています。（藤沢市商業振興の規定による地域貢献計画より）

- ① 南口サーフ事業やイルミネーション事業への協力 株式会社小田急百貨店藤沢店

【戦略目標】

24 市民一人ひとりが豊かな心を育む文化に触れ合う交流発信のまち

【成果指標】

① 市域に文化があふれていると感じている市民の割合

② 市民による芸術文化活動の充実

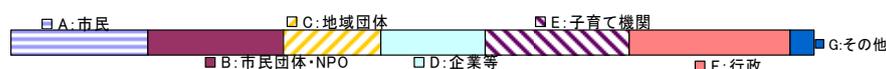
【現状値】 ①25% ②32%

【めざそう値】 3年後：①35% ②40% 6年後：①45% ②45%

【役割の担い手】 ①A:16% B:18% C:15% D:14% E:15% F:19% G:3%



②A:17% B:17% C:12% D:13% E:18% F:20% G:3%



政策と政策評価のための主要な指標

事業から生じる効果を測定するための主要な指標を示します。

《政策－80》 市民主体の市民文化を創造する芸術文化普及振興活動の推進

＜成果の視点＞ 新たな市民文化が市民の手で育てられ、広まること

〔主要な指標〕 藤沢音楽祭の出演応募者数

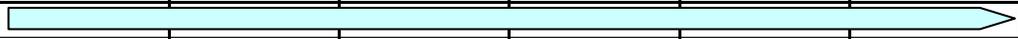
《政策－81》 クリエイティブシティ（文化芸術創造都市）の創出

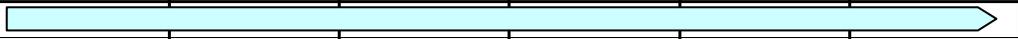
＜成果の視点＞ 文化・芸術活動がさまざまなところでくりひろげられ、創造文化の溢れるまちであること

〔主要な指標〕 ロビーコンサート実施回数

戦略目標に関するまちづくり事業の状況

事業の区分	事業数
まちづくり市民連携事業	4 事業
まちづくり行政事業	2 事業 (うち 地域で考え、全市で実施する事業 0 事業) (うち 地域と全市が連携して行う事業 0 事業)

事業名	芸術文化振興事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-9-81-24-80-1	地域分権区分					
事業内容	<p>ゆとりと潤いの実感できるこころ豊かな市民生活の実現を図るため、藤沢市みらい創造財団(芸術文化事業部)による、芸術鑑賞事業(音楽・演劇)や体験発表事業などを実施し、芸術文化の鑑賞機会や活動の機会のさらなる充実を図ると共に、将来の藤沢の芸術文化を担う人材(こどもから青少年をも含めた)の育成など、市民とのパートナーシップによる芸術文化の振興や、魅力ある文化創造の発信に向けて総合的に芸術文化振興事業に取り組めます。</p> <p>また、地域における文化・芸術の振興により、創造性豊かな藤沢づくりを目指していくためには、市民が自ら企画運営して、活動することで個性ある地域文化の花を咲かせることが出来ます。</p>					
活動指標	芸術文化振興事業の入場者数					
目標値	現状値	37,016人	3年後目標値	37,280人	6年後目標値	38,590人
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	本市における芸術文化の推進の中心的な担い手である財団法人藤沢市みらい創造財団、藤沢市文化団体連合会など、多くの市民や文化関係団体とのパートナーシップによる藤沢らしい芸術文化の振興を図ってまいります。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)						
事業の成果	藤沢市が長年培ってきた文化基盤と市民が持つ熟成された芸術的能力を活かし、市民を主体とした芸術文化活動などを総合的に展開します。このことにより、市民文化が市民の手で育てられ、市民一人ひとりが心豊かに文化と触れあうことを通じて、広まり、文化芸術創造都市として、市民が誇れる文化の創造・発展と、文化の薫りあふれるまちづくりが出来ます。					
実施主体	藤沢市教育委員会生涯学習文化推進課					(連絡先) 0466-25-1111

事業名	藤沢市の地名調査事業					
体系コード	事業区分	まちづくり市民連携事業				
3-9-81-24-80-2	地域分権区分					
事業内容	<p>藤沢市内の地名を通じて、藤沢の歴史、地理、民俗、考古を調べ、後世に伝え、ふるさと意識を啓発するとともに、地域文化の創造に資することを目的とし、会員制をとりますが、地名探訪・講演会・映画会等は非会員の参加を広く呼び掛けて成果をあげています。</p> <p>また、講演会(市委託事業年2回)、会員研究発表会1回、地名探訪年3回、映画会年1回、会員向けに、地誌輪読会月1回、「藤沢の地名」を読み訪ねる会月1回、古文書解説会月1回、特別企画(市外探訪)年2回、ホームページも開設などを主に行っております。</p>					
活動指標						
目標値	現状値	—	3年後目標値	—	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	藤沢市教育委員会の委託事業として、年2回講演会を開催し、広く非会員にも公開しています。また、同じく市教育委員会の後援を得て、地域探訪・会員研究発表会・映画会を非会員の参加も得て積極的に実施しております。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)						
事業の成果	藤沢地区に関する歴史、史跡、民俗等の文化遺産を認識し、後世に引き継ぐことの意義を多くの人々に伝えるために、会員(現在約200名)の増強、公開事業に対する非会員の参加者増加を図り、認識対象を市域に関係ある近隣地域迄広げ、より広い意味で藤沢の認識の充実を図ります。					
実施主体	藤沢地名の会					(連絡先) 0466-22-4567

事業名	邦楽演奏会実施事業					
体系コード	事業区分	まちづくり市民連携事業				
3-9-81-24-80-3	地域分権区分					
事業内容	藤沢市邦楽協会演奏会(H23年9月)開催, 藤沢市伝統芸能発表会(12月)に参画, 藤沢市文化団体連合会に邦楽部門として参画など, 様々な演奏会を開催・参画しています。					
活動指標						
目標値	現状値	—	3年後目標値	—	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	同上の事業に教育委員会, 藤沢市みらい創造財団の共催, ご後援を頂いております。(藤沢市文化団体連合会)					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	藤沢市邦楽協会創立50周年を迎えるため, 50周年記念事業として成功させたいです。(2年後)邦楽人口を増大させ, ジャンルを拡充させます。					
実施主体	藤沢市邦楽協会					(連絡先) 0466-23-7163

事業名	いけ花交流事業(財団法人小原流湘南支部)					
体系コード	事業区分	まちづくり市民連携事業				
3-9-81-24-80-4	地域分権区分					
事業内容	いけ花を通じて自然との共生, 思いやりの心を持ち, 共通の趣味を通じて人の輪の大切さを感じとりながら豊かな人間性を育み地域文化の向上に寄与します。					
活動指標						
目標値	現状値	—	3年後目標値	—	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	花屋さんの協力を得ながら月1回の研究会, 年1回の花展を開催します。そのため, 会員全員の連携, 協同作業となります。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	3年後に創立40周年を迎えます。地域を意識した大きな「花展」にしたいと考えております。					
実施主体	財団法人小原流湘南支部					(連絡先) 0466-25-4782

事業名	湘南映像祭事業					
体系コード	事業区分	まちづくり市民連携事業				
3-9-81-24-80-5	地域分権区分					
事業内容	6年前から毎年開催してきた青少年の映像を主体にした映像祭です。学校や地域市民によってつくられた映像をコンテスト形式で集め上映する映像祭です。審査委員には、大学の映像系の先生やプロの映像関係者をお願いし、客観的映像ではなく、主体的な映像、制作者の視点や想いが読み取れる作品を表彰する映像祭です。今年度は、資金不足と映像祭の意味や意義を再考しようとして休止をいたしますが、企画を練り直して、地域の資源や人を映し出す作品の市民映像祭を近年に開催いたします。活動のネットワークから市内の連携する小中学校や高校大学の作品や、F-DOGA(藤沢市動画サイト)に発表した作品を中心に開催予定です。					
活動指標						
目標値	現状値	—	3年後目標値	—	6年後目標値	—
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	湘南台中学校:連携による作品提供, 清流・藤沢総合・藤沢工科・日大藤沢高校等:作品参加 湘南地域大学:ボランティアスタッフ, 市内企業:賞品提供があげられます。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	実施	→	→	→	→	→
事業の成果	湘南映像祭の内容をさらに地域密着型にして、市内の商店街や市民団体と連携して開催します。その後、藤沢独自のメディア教育プログラムによって、市内25校の小中学校から映像作品が提出され、行政、商店街と中学校が協働した映像作品を上映します。					
実施主体	湘南映像祭 (連絡先) 0466-62-2288					

事業名	文化資料展示施設開設事業					
体系コード	事業区分	まちづくり行政事業(全市)				
3-9-81-24-81-1	地域分権区分					
事業内容	博物館資料や地域に関連する総合的な文化資料を適切に保管するとともに、それらを公開し、市民が活用するための施設を整備します。 1 「整備施設のあり方」の調査検討(市民を交えた検討組織の設置) 他の藤沢高校跡地利用施設と調整 2 「整備施設のあり方」原案作成(基本構想の作成) 3 施設の整備(実施設計) 4 施設建設, 建物養生 5 展示公開開始					
活動指標	施設整備の進捗状況					
目標値	現状値	0%	3年後目標値	10%	6年後目標値	70%
実績値	H23		H24		H25	
役割期待	行政は保有する文化資産を保存, 継承, 公開し, 市民の活用に使います。また, 事業検討に市民が参加することにより, 事業内容に市民要望を反映します。					
事業スケジュール	第1期			第2期	第3期	第4期
(市域全体)	H23	H24	H25			
(地域)	検討	実施	→	→	→	→
事業の成果	文化資料展示施設を開設することで、市民(地域)の歴史・文化情報に対するニーズに応え、郷土愛の醸成を促すことができます。					
実施主体	藤沢市教育委員会生涯学習部生涯学習課 (連絡先) 0466-25-1111					